

環境経営レポート

和田電気工事株式会社



2023年度版

対象活動期間

〈2023年4月1日～2024年3月31日〉

発行日 2024年6月27日

— 目 次 —

1. 組織の概要	・ ・ ・ P 2
2. 認証・登録対象範囲	・ ・ ・ P 3
3. 実施体制	・ ・ ・ P 3
4. 環境経営方針	・ ・ ・ P 4
5. 環境経営目標（単年度及び中長期目標）	・ ・ ・ P 5
6. 環境経営目標の実績とその評価	・ ・ ・ P 6
7. 環境経営目標の実績（環境負荷集計値のグラフ化）	・ ・ ・ P 7
8. 環境経営活動計画と取組結果	・ ・ ・ P 8
9. 2023年度の取り組み内容	・ ・ ・ P 9
10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	・ ・ ・ P10
11. 代表者による全体の評価と見直しの結果	・ ・ ・ P10

1.組織の概要

《事業所名》 和田電気工事株式会社
《代表者》 代表取締役 笹原 忍

《所在地》	本社・仙台支店	〒985-0003	宮城県塩釜市北浜1丁目4番26号
	女川支店	〒986-2221	宮城県牡鹿郡女川町塚浜字前田1番
	新地営業所	〒979-2611	福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字今神1番地1
	新仙台営業所	〒985-0901	宮城県仙台市宮城野区港5丁目2番1号

《環境管理責任者及び担当者連絡先》 環境管理責任者・連絡担当者 和田 英之
連絡先 TEL022-366-7641 FAX022-366-7462
Email wadadenki03@wdsendai.ec-net.jp

《事業の規模》 資本金 1,700万円
売上高 58,870万円（2023年）
従業員数 63名（2024年6月1日現在）
延べ床面積 276㎡（全社 事務所床面積）

《事業内容》 ・火力、原子力発電所の建設・補修工事及び電気計装機器校正の保守業務
・各種プラント、受変電設備電気計装設備設計施工

当社は1974年5月、火力発電所の建設及び保守行務を主な業務の一つとして宮城県塩釜市に設立しました。そのほか電気設備の仕事として産業プラントです。

産業プラントとは生活に必要なもの、例えばエネルギー（電気、ガス、水など）や石油化学製品（ガソリン、プラスチックなど）、医薬品などを製造する工場のことを言います。仕事の内容としては、電気設備を建設そして電気設備が稼働してからの日常的なメンテナンス（保守）や定期的な修繕工事を継続して行っております。

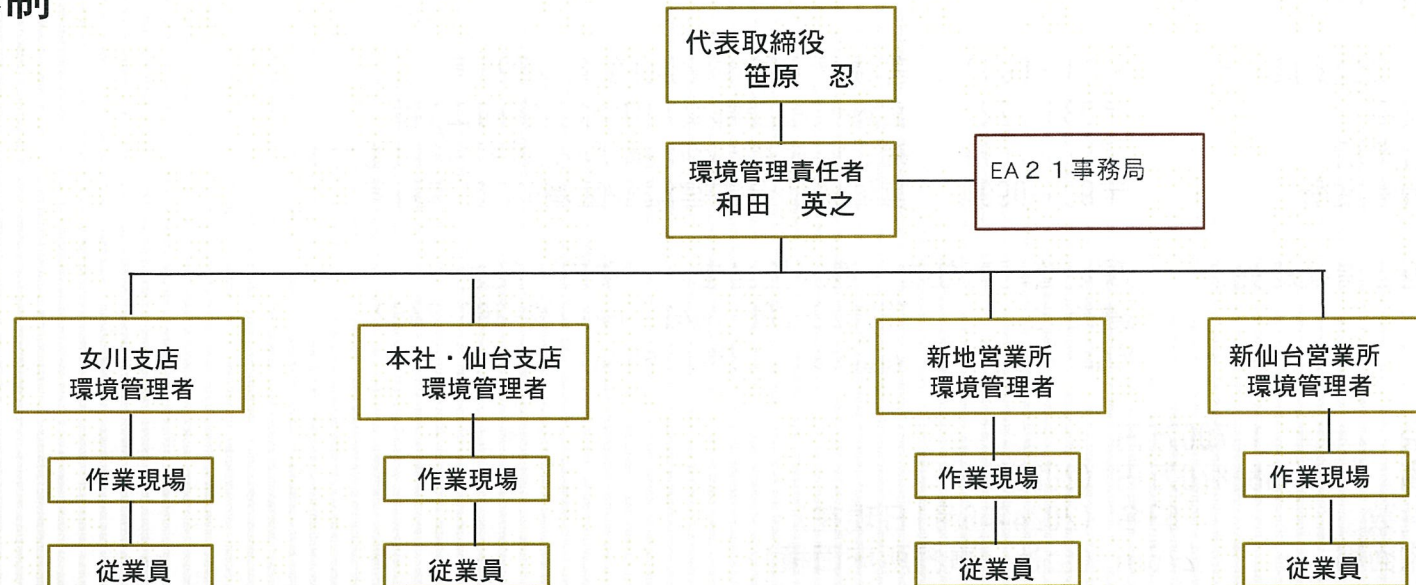
2. 認証・登録対象範囲

< 認証・登録事業者 >
和田電気工事株式会社

< 対象活動 >
火力、原子力発電、各種プラントの建設・補修工事及び保守業務

< 対象組織 >
本社（全支店・営業所）

3. 実施体制



< 各役割・責任・権限 >

代表取締役	・課題とチャンス の明確化 ・実施体制の構築 ・環境経営システムの全体的な評価と見直しを行い、改善の指示を行う ・環境経営方針を策定する ・環境管理責任者及び環境管理者の役割・責任の権限を定める
環境管理責任者	・ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築・運用・維持 ・環境経営システムの実施状況を代表取締役に報告する ・環境管理委員会を開催する ・環境経営システムの構築・運用に関する総括をする
事務局	・外部及び内部からの苦情・要望・意見等の受付を行う ・環境に関する取組への助言・指導をてきせつに行う（教育訓練の計画） ・環境経営レポートを取りまとめる
作業現場	・従業員への環境経営方針・環境経営目標・環境活動計画・環境関連法規の取り組みます。 ・作業現場における環境への取組する
従業員	・環境経営方針を理解し、積極的・自主的に環境活動に取り組む

4・環境経営方針

<基本理念>

『より豊かな未来をひらく』を理念とし、持続可能な社会の実現に向けて、気候変動への適応、資源の循環を課題として経営に取り組み企業の発展を目指します。

<行動指針>

和田電気工事株式会社は電気設備工事を通じて以下の行動指針に基づき環境保全活動を推進していきます。

1. 環境経営に積極的に取り組み、継続的改善に努めます。
2. 事業活動における環境負荷の低減に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量削減を目指し、電力消費量、ガソリン等燃料消費量の削減に努めます。
 - ②廃棄物の排出削減に努めます。
 - ③資材の歩留まり100%を目指します。
 - ④水道使用量の削減に努めます。
 - ⑤紙など資源使用量の削減に努めます。
 - ⑥環境に配慮した商品普及に努めます。
3. 環境関連法規制、条例及びその他の要求事項を遵守します。
4. 本行動指針を全従業員に周知徹底し、積極的に取り組んでいきます。

2018年 5月 7日 制定
2022年 9月 20日 最終改訂

和田電気工事株式会社
代表取締役 笹原 忍

5.環境経営目標（単年度及び中長期目標）

2023～2024年度の環境経営目標を以下のように定める。

- ・項目としては、環境経営行動指針 2(P-4参照)で目標を設定した環境負荷の①～⑥を基準とする。
- ※二酸化炭素排出係数には東北電力2020年度 0.457kg-CO₂/kwh(調整後)を使用

環境経営目標	単位	2023年度 計画	2023年度 実績	2024年度 計画
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	84,921	84,921	77,707
①電力消費	Kw h	34,405	34,926	34,751
①ガソリン消費量	ℓ	28,574	26,061	25,930
①軽油量	ℓ	905	901	896
①灯油消費量	ℓ	746	626	622
①LPG使用量	湯沸かし器のみ使用の為、削減目標とせず、管理目標とする			
②一般廃棄物	kg	686	569	566
②産業廃棄物	kg	15	0	0
③資材の歩留り率100%目標	%	100	100	100
④水使用量	m ³	217.7	190.7	189.0
⑤資源使用量	kg	283	237	235

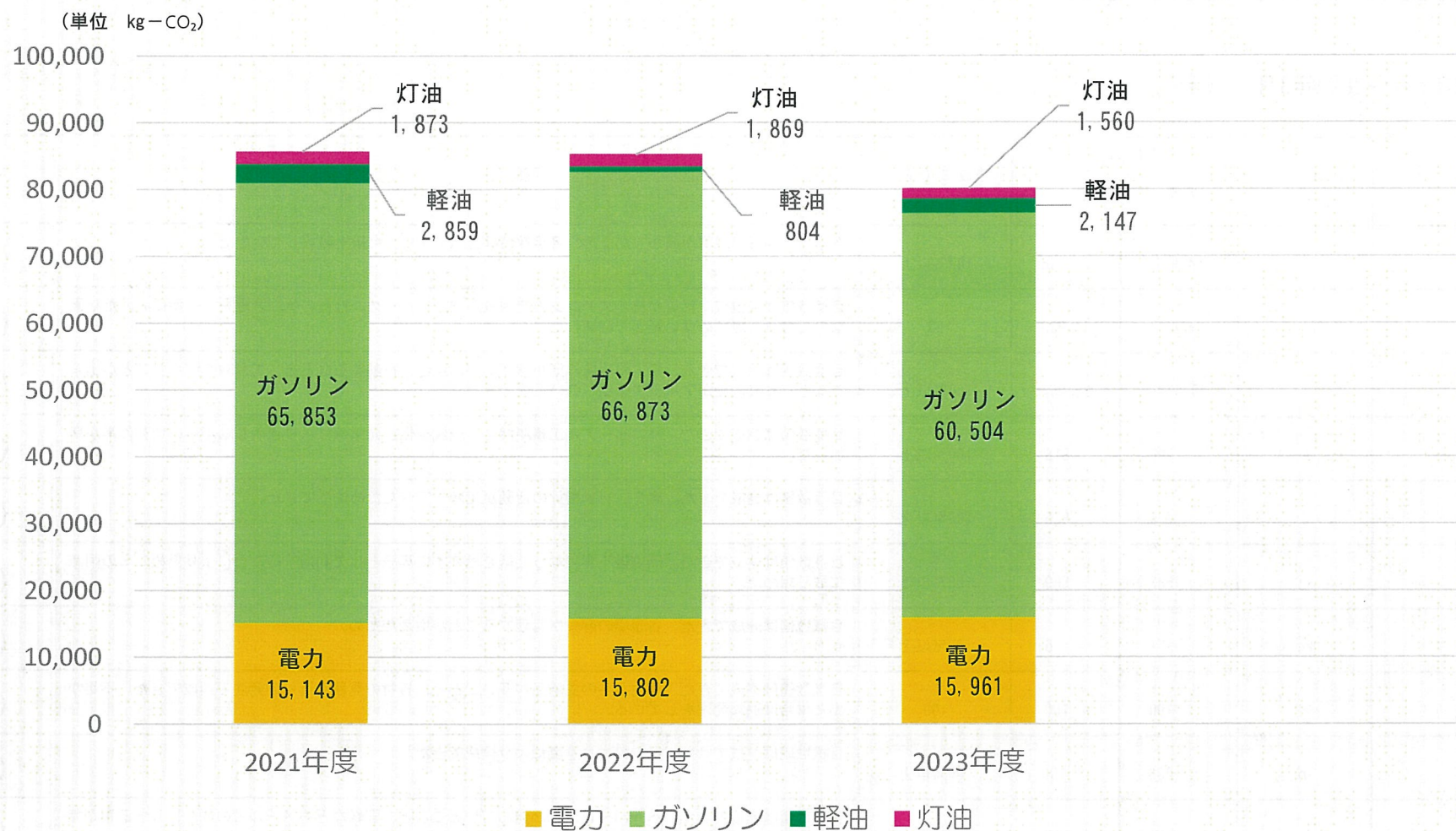
6. 環境経営目標の実績とその評価

2023年4月～2024年3月 (全社)

環境経営目標	単位	2023年度		達成率 (%)	評価	判定
		目標	実績			
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	84,921	78,098	100%以上	各項目の削減達成率が高かったため、目標数値は達成できた。今後も継続していきたい。	😊
電力消費量	Kwh	34,405	34,926	98	目標数値は未達成。猛暑が続くエアコンの使用量が増加したため。社員の体調管理を一番に考えた結果なので今後も無理のない範囲で継続したい。	😐
ガソリン消費量	ℓ	28,574	26,061	100%以上	目標数値は達成できた。遠方の現場作業が増えたが、乗合で行動するなどをして台数を減らすことが出来たなど、社員同士がアイデアを出し合い達成できた。	😊
軽油消費量	ℓ	896	818	100%以上	目標数値は達成できた。リニューアル工事が増え、既設を仮設発電機により運用しながらの切替作業が増加した。	😊
灯油消費量	ℓ	746	626	100%以上	目標数値は達成できた。暖冬と行動指針の活動が定着してきたため達成できた。	😊
一般廃棄物	kg	583	569	100%以上	目標数値は達成できた。印刷後不要になった紙を捨てずに裏紙として利用することにより努めゴミの削減に取り組めた。	😊
産業廃棄物	kg	371	0	100%以上	目標数値は達成できた。各現場の客先が管理することが増えたため。	😊
資材の歩留り率	%	100	100	100	目標数値は達成できた。客先からの支給品が多いことと、資材の見積書通りの発注で達成できた。不足が出た場合は追加発注をしている。	😊
水使用量	m ³	238	190.7	100%以上	目標数値は達成できた。各自のエコ意識により達成できた。	😊
資源使用量	kg	272	237	100%以上	目標数値は達成できた。ペーパーレス化が進んでいることと、資料などもメールでのやり取りする事が増えたため。	😊

判定基準 😊 : 100%以上 😐 : 95%以上 😐 : 80%以上 😐 : 80%未満

7. 環境経営目標の実績（環境負荷集計値のグラフ化）



	電力	ガソリン	軽油	灯油
2021年度	15,143	65,853	2,859	1,873
2022年度	15,802	66,873	804	1,869
2023年度	15,961	60,504	2,147	1,560

(単位 kg-CO₂)

8.環境経営活動計画と取組結果

	目標	活動内容	評価
環境	・ 事務所電力使用量の削減	こまめな節電、空調の温度設定	社員の体調管理を一番に考え温度管理をする事ができた
	・ 社有車のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育、事前に現場ルート探索	アイドリングストップの社有車を購入した
	・ 資源使用量（紙）の削減	ペーパーレス化、ポスターやカレンダー等の裏紙活用	印刷せず、データー保存も徐々に増えてきた
	・ 水道使用量の削減	日常的に節制、ウォーターサーバーの活用	社員の取組み意識が浸透してきた。
	・ 一般廃棄物排出量削減	ゴミの分別の徹底、詰め替え製品の利用	リサイクルを意識しながら活動中
教育	・ 活動内容の理解度向上	全体教育の実施	毎月一回ミーティングで話合い
	・ 資格取得へのチャレンジ	各種資格取得	その都度資格取得の日時を回覧し、希望者を募る
衛 安 全	・ 一年間無事故無災害	指さし確認、「報・連・相」の徹底	朝・夕礼で業務の確認と反省
	・ 5S活動推進	週末の清掃活動	各自の身の回りの整理整頓を心掛ける
	・ 飲酒運転禁止	アルコールチェッカーの運用	毎朝のアルコールチェック
ン ケ コ ミ ュ ニ シ ョ ン	・ 自社標語大会	全社員自由参加	新入社員を筆頭に作品募集
	・ 地域社会貢献活動	地域清掃活動への参加	引き続き

9. 2023年度の取り組み内容



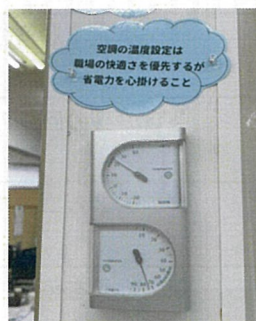
作業の合間に資格取得のために練習中



営業所近くの海岸清掃、皆さんお疲れ様です！



全支店営業所に空気清浄機を設置しました



社員の目が届くように至る所コメントを貼って



支店・営業所のミーティングのようす

10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無

① 環境関連法規の遵守状況

当社に適応される主な環境関連法規は下記の通りです。その遵守状況を確認した結果、問題はありませんでした。

◇廃棄物処理法 ◇自動車道リサイクル法 ◇フロン排出抑制法 ◇建設リサイクル法 ◇家電リサイクル法
◇小型家電リサイクル法 ◇プラスチック資源循環促進法（2022年4月1日施工）
◇宮城県産業廃棄物の処理の適正化に関する条例

② 苦情・訴訟等の有無

環境関連法規への違反及び近隣住民からの訴訟・苦情等は創業以来ありません。
また、関連機関からの指摘も同様にあります。

11. 代表者による全体の評価と見直しの結果

環境問題は人間の活動が地球にどのような変化を生じさせるという結果です。二酸化炭素ガスを主とする「地球温暖化」による今夏、かつてない高温を私達も経験しています。

その他「地球の汚染、ごみの増加、生物の態系変化」などが起きています。私達一人一人が微力ながら何かできるか考え実行していきましょう。